

東日本大震災復興支援松戸・東北交流プロジェクトニュース “黄色いハンカチ”

【発行者】
 松戸・東北交流プロジェクト(代表:古宮保子)
 〒271-0092 松戸市松戸 1834-5 小川ビル 2階
 TEL: 047-710-5519 FAX: 047-710-5546
 E-mail: yellowhandkerchief1834@gmail.com

1周年記念報告会開催特集!

5月18日(日) 松戸市女性センター・ホールを会場に松戸・東北交流プロジェクト1周年記念活動報告会を開催しました。避難者・市民・サポーター・行政関係者など合わせて70名以上の方が参加しました。午前は第一部として古宮代表よりスライドショーを使つてのこれまでの復興支援活動の紹介の後、岩手県・宮城県・福島県・浪江町・松戸市の担当職員の報告が行われました。

午後は第二部として、避難者によるパネルディスカッション。東北3県から避難をしてきた9名の方が前で、これまでの経緯・今の現状・行政への想いを参加者に訴えられました。会場では時折拍手も見られました。

(記 事務局 細嶋)



第2部パネルディスカッションでは一人の熱い想いが会場内にひびきました。



サロン来訪者による、歌の披露。



被災者の皆さんによる被災地の状況の写真の展示。



3/29 みらいフェスタで描いて頂いたハンカチの展示

保子の窓

伝えたいこと
～あれも・これも～

1周年記念報告会を終えて

避難者の皆様、行政の皆様、市民の皆様大勢のご協力ありがとうございました。おかげさまで無事報告会を実施することができました。その場で解決することが難しい難題ばかりでした。行政の方々には、避難者の生の声を持ち帰り上層部に報告していただくお役目を担っていただきたいをお願いいたしました。皆様にお土産としてお持ち帰りいただきました手作り折箱(写真右)は、当日来れなかった避難者の方の心づくしのプレゼントです。



秋には市民も参加型の「避難者から大震災を学ぶ」のイベントを考えています。どうぞよろしく願いいたします。(記 代表 古宮)

活動報告会のごことが新聞に掲載されました。

千 葉 日 報 (日刊) 2014年(平成26年)5月20日(火曜日) (10) 東 京 新 聞 厚 井 2014年(平成26年)5月19日(月曜日) 千葉中央 10

震災避難者支援ベース「黄色いハンカチ」の活動などを振り返る報告会＝18日、松戸市本町

近隣市団体と結束強化へ

松戸 避難者支援拠点が方針

東日本大震災の影響を受け、県内避難者を受け入れる3県(岩手・宮城・福島)の避難者支援拠点として、松戸市・東北交流プロジェクト「黄色いハンカチ」が松戸市内にオープンして1年4カ月、これまでのサロンの活動成果を振り返り、今後の支援のあり方を報告会18日、市会客室で開かれた。約70人が参加し、近隣市団体との連携強化を新たな方針が示された。

東西

困難な生活の状況を訴える避難者たち＝松戸市で

3.11から

東日本大震災や福島 女性センターで現役の。第一原発事故により県心癒や尊しを語り。内でも暮らしが困難な。避難者は「仮市近辺で暮らす避難者など。八日、松戸市本町の市は経済的自立した。十五人、市民六十にお客の支援を受けてほしい。加え、福島と東北三県の「孤立して追い詰る」避難者支援担当者。められた。友人が、らも参加した。岩手県。逃れた。大船渡市の自宅を津波。でも将来を見過ごさない困難な現状を吐露した。

34人が立候補
野田市議員告示
任期満了に伴う野田八
市議員選挙(全数二)は、共
十八日告示され、三千市民
四人が立候補を届け出、請願

経済自立支援を

原発事故避難者が現状語る

松戸

東日本大震災や福島 女性センターで現役の。第一原発事故により県心癒や尊しを語り。内でも暮らしが困難な。避難者は「仮市近辺で暮らす避難者など。八日、松戸市本町の市は経済的自立した。十五人、市民六十にお客の支援を受けてほしい。加え、福島と東北三県の「孤立して追い詰る」避難者支援担当者。められた。友人が、らも参加した。岩手県。逃れた。大船渡市の自宅を津波。でも将来を見過ごさない困難な現状を吐露した。

もう一つの報告会(会場で発言の機会のなかった方など)

当日、時間の都合で語れなかった避難者の方もいらっしゃいました。申し訳ありませんでした。後日お話を伺いました。

1. 原発のことで、環境が大きく変わってしまった。若い人は生活の立て直しのため、働くことで精一杯の日々。
2. 除染を早く行ってほしい。家の中はネズミの住処。庭は雑草が生い茂っている。2~3時間の立ち寄りでは何もできない。空間線量も高く、窓を開けて整理はできない。体力も3年前に比べて落ちてきている。
3. 陸前高田は、特に復興が遅れている。3年たっても何も変わっていないと故郷から電話が入る。
4. 岩手県庁の方にあえてよかった。健康診断のことを聞いた。名刺もいただき何かあったら連絡をくださいと言葉をかけてもらった。復興支援住宅に申込みをした。
5. 福島県の行政の方と、もう少し深い話がしたかった。時間が足りなかった。

ところで、サロンで接客をしているときうれしい情報が飛び込んできました。

福島県の応急仮設住宅(みなし仮設住宅を含む)の供与期間が延長！！

平成28年3月31日までとするというものでした。うれしいことではありますが、サロンには岩手県・宮城県からの避難者もいらっしゃいます。切ない気持ちです。どうぞ2県も延長になりますよう、行政の方よろしくお願いたします。

以前から課題にしていた「住宅お悩み相談会」を実施します。平成26年6月24日(火)午前10時半~12時です。当団体を支援いただいているサンヨーホーム(株)代表取締役社長 金本正人氏をお招きいたします。

※当日、市民の方は午後からのご来訪ご協力をお願いいたします。



2014 年度サポーター会員募集中！

- 松戸・東北交流プロジェクトでは、千葉県に避難している皆さんと交流・支援をする活動をしています。
- この活動を応援していただくサポーターを募集しています。
- 交流サロン黄色いハンカチで受付しています。

(個人) 1口 1000円
(団体・法人) 1口 5000円

※もれなくサポーター会員証をお渡します。

松戸・東北交流サロン「黄色いハンカチ」6月の予定

6月4日(水) 25日(水) 13時30分~

初めての囲碁教室 ~一から教えます~
市民ボランティア講師 今田靖雄さん

6月10日(火)

相談デー

就職・税金・介護・原簿精算・どんなことでも~
相談員:古宮保子

6月12日(木)

~女性・男性も楽しくメイクの基礎で変身
講師: NPO 四季彩倶楽部 山川やえ子さん

6月17日(火)

歌の日 担当:前田洋子さん

6月19日(木)

手芸の日 講師:戸丸栄子さん

6月24日(火) 10時30分~12時

住宅お悩み相談会

講師:サンヨーホーム(株) 金本正人氏

6月26日(木) 13時30分~15時30分

ミュージック&アロマ

音楽とアロマで身体をリフレッシュ♪
前田さん・笹子さんプロジェクト

毎週水曜日 14時~16時

パソコンデー 担当:サロンスタッフ

7月5日(土) 14時~15時

チャリティーサマーコンサート 1人1000円

※上記以外の日でも毎週火水木 10時~16時オープン中。お立ち寄りください。